

プール育苗 開始! JA吉田郡

吉田郡永平寺町内にて、特別栽培用米に出荷する苗作りが4月20、26日の両日に行われました。

JA 吉田郡では、自然に近い状態で水稻苗を栽培するプール育苗を行っており、苗箱が載ったトラックから圃場まではバケツリレーならぬ苗箱リレーが行われ、慎重に圃場へ苗箱が並べられていきました。田んぼに水が張られた後、発芽して緑化するまではシートを掛けて生長を促していくそうです。

当日は天気も良く、額に汗をにじませながら作業に取り組むJA職員の姿が見られました。



農業機械実演会 開催! JA福井市



始めにスガノ農機(株)の担当者より、サブソイラとハーフソイラの違いについて、土中の断面図写真を用いた詳しい説明がありました。実演後には、実際に圃場に入ってハーフソイラをひいた跡や断面を確認したり、実演機の近くでメーカー担当者に質問したりする生産者の姿が見られました。

大豆の播種前ということもあり、皆さん熱心に聞いていました。

転作の排水対策強化を目的としたハーフソイラの実演会が、JA 福井市管内久喜津地区にて5月31日に実施されました。当日は青天の中、管内で大豆やソバ、大麦栽培に取り組む生産者やJA関係者が集まりました。





タマネギ収穫祭

JA 吉田郡のタマネギ収穫祭が 5 月 14 日に Lpa にて、15 日はれんげの里にて開催されました。

販売されたのは、昨年 10～11 月に定植された「ジェットボール」という極早生品種。タマネギの年間供給に向けて、JA 吉田郡管内で初めて極早生品種栽培に取り組まれたそうです。店頭には約 1 kg ずつネットに入れられたタマネギが、S～2L サイズに分けて並べられ、購入客は販売員からオススメの調理法を聞くなど会話を楽しみながら買っていく姿が見られました。



JA 吉田郡指導開発課の南部主任は TAC 歴 1 年目（営農指導員兼務）、吉田郡の地域振興作物の 1 つであるタマネギを担当されています。

— どのような相談をよく受けますか？

営農指導員との兼任なので、水田園芸のタマネギ栽培についてなど営農関係が多いです。また、平成 30 年の減反補助金の廃止を見据えて、水稻の代わりになる作物はないかという相談をよく受けます。

— 訪問の際に心がけていることは？

明るく、元気に話すことを心がけています！

— タマネギ栽培に取り組み、どのように感じましたか？

水稻と違い、園芸作物は労力がとてもかかることを実感しました。タマネギは、10 a あたり 2 万 2000～3000 本の苗を定植するため、水稻用に比べて精度の低い園芸用の機械は、定植後に手直しの手間がかかり大変です。

去年はタマネギの収量が 2～3 t/10 a だったので、今後は目標収量 5 t/10 a を目指して、県の指導員と連携した指導を図っていきたいと考えています。また JA が圃場準備から収穫、選別までの一貫した機械化体系を確立し、作業労力の軽減を図れるように、機械のリース等の提案も今後していきたいと思っています。

— 嬉しかったことは？

生産者の方から感謝の言葉をいただいたことです！中でも、昨年新規でタマネギ栽培に取り組まれた方からいただいた感謝の言葉が、最も印象に残っています。

— 今後の意気込みを教えてください！

タマネギ作付けの普及を進め、生産者の所得アップや、JA 販売高アップに繋げていきたいです。「販路を広げたい」という農家さんの要望実現のために頑張ります！



生産者インタビュー！



田植えでお忙しい中、JA 吉田郡管内でタマネギ栽培に取り組まれる栢山勇氏にお越しいただき、お話を伺いました。

栢山氏は兼業農家歴約 40 年。現在は退職され、専業で農業を 3 年ほどしていらっしゃいます。常時作業者は 2 名、繁忙期には親族に作業をお願いしているそうです。



㊤ 栢山氏

㊦ TAC 南部氏



— 面積について

水稻：約 7 町 園芸：約 3 町（うち、玉ねぎ：20 a）

タマネギの苗は、自家栽培で播種から行っています。

— タマネギ栽培のきっかけ

JA でタマネギの選別機や根切り機械があること、親族から選別機をレンタルできることが決め手となり、タマネギ栽培を始めました。

収穫したタマネギを保管する場所がないため、収穫以降は全量 JA へ出荷しています。

— JA とはどのように付き合っていますか？

米や園芸作物を主に出荷しています。タマネギ栽培では、人手が足りない時期に職員の方々がボランティアで作業に来てくださり、大変助かりました。

— どのような相談をしていますか？

今回、初めて極早生品種に取り組んだこともあり、主に栽培技術について相談しました。なるべく農業は使いたくないという思いがあるので、栽培について色々聞いています。

— JA グループに期待することを教えてください。

生産者の手取り増加に向けて、タマネギの売り場の確保や、単価の高い時期に売れるように、今後とも努めて行って欲しいです。相場に左右されない契約栽培の話も出ているそうなので、高く売れた年には配当金を出すなどしていただけると助かります。

名称が JA 吉田郡から JA 永平寺になることも含めて、五領タマネギの商標登録やアピールを、ぜひお願いします！

— TAC に一言お願いします！

まめに顔を出していただき、とても感謝しています。特にタマネギ栽培では、県の方や南部主任からその都度アドバイスを頂け、安心して作ることができました。分からないことが聞けるので、とても助かっています。今後ともよろしくお願いします！

栢山様、JA吉田郡の皆様、インタビューにご協力いただき
誠にありがとうございました。



福井梅のシーズンが到来！！ JA敦賀美方

JA 敦賀美方梅選果場で、平成 28 年度の福井梅初出荷セレモニーが 6 月 2 日に開かれました。冒頭 JA 敦賀美方の川崎専務より、今年は天候に恵まれ果肉の付きが良かったものの、4 月や 5 月の強風で梅の実が落ちたこともあり、出荷量としては平年よりやや少ない 1000 トンになるだろうと報告がありました。



その後、福井青果や梅の里会館の担当職員より、今回新たに商品化された福井梅の新品種「新平太夫」「福太夫」の PR を県内外で図っていききたいとの意気込みが話されました。

当日は、福井梅マスコットキャラクターの「ふくい梅じい」と「わかさ梅ぼう」も登場し、会場の人たちと共に約 10 t の梅を載せたトラックを見届けました。

麦求評会 in 坂井カンントリー



6 月 1 日・2 日の両日、大麦の主要な販売先の実需者を参集して、民間流通連絡協議会（麦求評会）が開催され、本県産大麦の評価や意見交換等が行われました。

2 日目には、現地での研修を行い、収穫されたばかりの 28 年産の大麦を見ながら、各実需者が今年の出来具合を熱心に確認していました。

本年産は、暖冬と降雪が少なかったことから生育が早まり、例年より一週間程度早い収穫時期となりました。JA によると、収穫量は多いものの細麦傾向であるとのことでした。

実需者からは、福井県産の評価は概ね良好としながら、毎年、高品質で安定した数量を確保して欲しいとの要望が聞かれました。



ふれあい特産市スタート!



6月6日農業会館前にて、毎年恒例のふくい特産市が開催されました。

「ふくいのおいしい大集合!!」というテーマのもと、越のルビーをはじめ福井県の特徴ある農産物や、新商品「白ねぎラーメン」が販売されました。キッチンカー前では女性部による朝ごはんの提供があり、道行く人たちにご飯や汁物が振る舞われました。

6日の農業会館に引き続き、JA 第1弾の特産市が JA 敦賀美方にて 11 日に開催されました。ファーマーズマーケットには開店前から長い行列ができ、開店後の店内は多くの買い物客で溢れかえりました。

外の会場では、タマネギの詰め放題や女性部による朝ごはんの振る舞い、麦とろそばの試食など様々なブースが立ち並び、子供から年配の方まで楽しめる特産市となりました。



TAC 担当部課長会議の開催

5月30日に経済連総合施設センターにて TAC 担当部課長会議が開かれました。県内 JA 担当部課長等 9 名をはじめ、全農、組合員トータルサポートセンター、経済連が出席し熱心な審議がなされました。

議題として、全農 TAC 推進課三井氏より「全国における TAC 活動状況について」、組合員トータルサポートセンター牧野課長より「農業支援課業務の概要について」、担い手対策課志田部長より「平成 28 年度 TAC 活動方針について」説明がありました。今年度より五連共通部署として組合員トータルサポートセンターが設立されたこともあり、本課とサポートセンター及び JA との連携や、今年度の TAC 活動について、相互に確認することができた会議となりました。



TAC担当者研修会開催される



JA 福井県五連組合員トータルサポートセンターは、7月1日経済連総合施設センターでTAC担当研修会を開催いたしました。県内TAC等40名が出席。

研修では経済連米穀課岡出課長より「本県産米の米穀情勢について」、県農業試験場高度営農支援課の山口主任より「稲作の昨年の反省と今後の管理」、経済連園芸特産課大西課長より「園芸振興の情勢と方策について」説明がありました。

また、JA 福井県信連より「業関連資金」の紹介があり、熱心にメモを取る職員の姿が見られました。

さらに、担い手農家の経営支援に向けた「営農計画策定支援システム」や「圃場管理システム」の案内等があり、TACが現在活用しているタブレットにも導入できないかなど積極的な意見もありました。

研修会は年4回を計画しておりますが、今後も担い手農家を多角的に支援できるような内容にしていきたいと思います。



肥料農薬課

デカ得!

今ご購入が

キャンペーン2016

7月31日まで実施中!

※キャンペーン開始時期は、JAによって若干異なりますのでご注意ください。

ラウンドアップ マックスロード

2ℓ 5.5ℓ 20ℓ

バスター

2.2ℓ 10ℓ

草枯らしMIC

5ℓ 10ℓ 20ℓ 200ℓ

ブリックロックスト

※ご購入の際は印鑑が必要となります。

5ℓ

タッチダウンIQ

6ℓ 200ℓ

対象商品ご購入で、豪華賞品が当たる!

30名

選べるグルメカタログ

30名

オリジナルカップ麺セット

50名

JA-SSプライドカード 3,000円分

3名様

タイソン HHOBCOM ハンディ&布団クリーナー

5名様

Nツアー旅行券 3万円分

各JAで取扱商品が異なります。詳しくはお近くのJAで。

JA 福井県経済連肥料農薬課

福井市高木中央2丁目4202 ☎0776-54-0233

JA農機

平成28年

6月1日(水) 7月31日(日)

ねんねかみ

キャンペーン

今がチャンス!!

JAで農機具を買って当たる!!

期間中、対象商品を30,000円以上お買い上げの方に
抽選で豪華賞品をプレゼント!!

特賞

旅行券
10万円分

1名様

A賞

レイコップ
ふとん
クリーナー

「レイコップRS2」
※色はお選びいただけません。

5名様

B賞

若狭牛
ギフト

10名様

D賞

福井県
特産ギフト

15名様

C賞

JA-SS
プリペイドカード
3,000円分

15名様

応募方法

対象商品を30,000円以上お買い上げいただいた方に応募券を進呈いたします。応募券に必要な事項をご記入の上、JA担当者にお渡しください。

当選発表

8月中旬頃、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

対象品目

トラクター・コンバイン・田植機
管理機・乾燥機・その他小物製品

対象メーカー

井関農機・クボタ農機・山本製作所
やまびこ・丸山製作所・カンリウ

◎お問い合わせは **お近くのJA農機具センター**まで

福井県 中古農機 合同フェア

Fukui
Used farm machine
joint fair 2016

2016

2016
7/30 土
9:00 ▶ 16:00

福井県産業会館
1号館展示場

中古農機
100台以上大展示!



当日限り!
お見逃しなく!

■主催 福井県農業機械化協会

■協会加盟社

福井県JAグループ／福井県農機商組合員／(株)キセキ北陸
クボタ会／三菱農機販売店会／福井県ヤンマーグループ

お客様へのご案内

- ①展示してあります機械は、ワンプライス価格にて表示してありますので値引きは致しません。
- ②原則、先着順とさせていただきますのでご了承ください。
- ③同一商品をご希望のお客様が複数おられる(同時進行での商談)場合は、抽選とさせていただきます。

■お問い合わせ

福井県農業機械化協会
TEL.0776-50-2154



白ねぎの旨味が際立つ！

氷結乾燥

ノンフライ麺



1杯に！

トロットロに
煮込んだ

白ねぎ ラーメン



甘くて柔らかい福井県産白ねぎを大きめにカットしてトロトロに煮込んだレトルトの具と
醤油ベースのピリ辛スープ、それに氷結乾燥ノンフライ製法で仕上げた中麺がよく絡みます。